



# 多文化防災ケーススタディ

- 外国人財は地域防災の担い手になれるのか? -

2026.3.4(水) 14:00-16:00

**会場** コミュニティカフェ@大久保  
(日本福音ルーテル東京教会内)

東京都新宿区大久保1-14-14  
(最寄り駅:JR新大久保駅、100円ショップCan Do並び)

Google Map



**参加費無料・事前予約不要**

15年前の仙台、東日本大震災を経験したゲストを囲み、多文化防災分野における各地の現状、地域日本語教室が持つ可能性、そして被災地のその後について、仙台市在住の当事者を交え、語り合い、2025年11月、多国籍タウン大久保で経験した防災訓練のケースも共有し、学び合います。

**ゲストスピーカー**

菊池哲佳さん



明星大学人文学部国際コミュニケーション学科准教授。  
2000年に仙台国際交流協会に入職後、主に防災事業、外国人相談事業、地域日本語教育事業を担当し、仙台市における多文化共生の地域づくりに努める。

DUWADI ARUN(ドゥワディ アルン)さん



ネパール出身、仙台市在住。子どもの医療のため2007年来日し、2011年に仙台で東日本大震災を経験する。現在、司法関係の通訳・翻訳業務を行いながら、外国人による防災活動に関わる。

**2025年11月・百人町中央町会防災訓練**



主催:コミュニティ・カフェ@大久保

問い合わせ:CWS Japan 牧(03-6457-6840、[public@cwsjapan.jp](mailto:public@cwsjapan.jp))

